

Tokyo Satellite Campus, Doshisha University

同志社大学 東京サテライト・キャンパス

同志社講座

2022年度
春学期



視聴に学ぶ
キリスト教の

「今、見つめなおすキリスト教の多様性」

キリスト教や教会について、結婚式やクリスマスなどで触れたことのある方はたくさんおられるのではないのでしょうか。しかしその歴史や実態、特に現代の日本における実情は、あまり知られていないように思われます。本講座では、こうしたキリスト教の概要について入門的な視点から概説するとともに、キリスト教主義大学である同志社の歴史や人物とも関連させながら、現代社会にキリスト教が語るることについて考えていきます。

1回・2回担当
講師



こしかわ ひろひで
越川 弘英

1958年東京生まれ。1982年同志社大学神学部卒業。1984年同志社大学大学院神学研究科前期課程修了、修士(神学)。同志社大学大学院神学研究科後期課程中退。1985～1987年、シカゴ神学校留学(Chicago Theological Seminary)。M.Th.(神学修士)修了。1988～1992年、日本基督教団中目黒教会伝道師・副牧師。1992～2002年、日本基督教団巣鴨とときわ教会牧師を経て、2002年より現職。専門はキリスト教の礼拝・教育・宣教などに関する実践神学。著書『今、礼拝を考える』、『旧約聖書の学び』、『新約聖書の学び』、『キリスト教史の学び(上下)』(以上、キリスト新聞社)ほか。

3回・4回担当
講師



もりた よしき
森田 喜基

1977年大阪生まれ。2000年同志社大学神学部卒業。2002年同志社大学大学院神学研究科前期課程修了、修士(神学)。2009年バークレー太平洋神学校博士課程修了、Doctor of Ministry。日本基督教団紅葉坂教会、同教団海外派遣宣教師としてカリフォルニア州で牧師として働き、帰国後同志社国際学院初等部、塚本短期大学等を経て2020年より現職。同志社大学人文科学研究所第21期第3部門研究会「会衆派教会とは何か」研究代表。専門はキリスト教教育の歴史と実践。

1回 5/16 月
講師 越川 弘英

「キリスト教の歴史 日本に伝わるまで」
キリスト教という宗教の誕生から現在に至るまでの歩み、そして、現代日本におけるキリスト教のさまざまな教派とその特徴について学びます。今回は、キリスト教の成立から、古代、中世、近世、近現代に至る歴史の概要、また16世紀と19世紀にキリスト教が日本に伝えられるまでの経過を解説します。

2回 6/13 月
講師 越川 弘英

「日本におけるキリスト教 教派と特徴」
現代の日本において活動するキリスト教の諸教派の多様性とその特徴について取り上げます。主な教派として、ハリストス正教会、カトリック教会、聖公会、プロテスタント諸教派(ルター派、改革派、ピューリタン系の諸教会、メソジスト、クエーカー、救世軍など)を取り上げる予定です。

3回 7/11 月
講師 森田 喜基

「新島襄の志と現代社会の多様性」
同志社の校祖新島襄は、アメリカで会衆派教会(Congregational Church)に出会います。その教派は世界で最初に様々なマイノリティーが牧師となった伝統があり、またアメリカ建国史上非常に重要な教会です。今回は現代社会、特に「多様性」について、新島とその信仰をロールモデルとして考えてみます。

4回 8/8 月
講師 森田 喜基

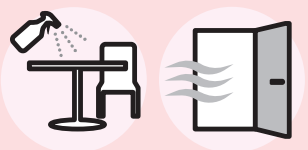
「キリスト教の歴史とパンデミック」
歴史上、疫病の困難は幾度となく世界に降りかかっていますが、キリスト教史のある研究によれば、頻発した疫病が後のヨーロッパ社会におけるキリスト教拡大の一因とされています。「疫病=痛み」を社会が抱える時、私たちは何を大切にする先に未来を見据えることができるのか、聖書・キリスト教の歴史から考えてみます。

開催概要	定員	時間	受講料	お支払い	資料
	36名	14:00～15:30	12,000円 (一括のみ)	初回の受付でお支払いください。	当日講師より配付いたします。

新型コロナウイルス感染拡大防止に関する取り組みとご協力をお願い

同志社大学東京オフィスでは、安心して同志社講座を受講いただくための取り組みを行っています。受講にあたりましては、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

- 会場のテーブルは前後に通常よりもゆとりを持たせ、座席は前後に重ならないよう配置しています。
- 常時、換気効果が最大になるよう努めています。
- テーブル、椅子、マイクなどの備品は、定期的にアルコールでの除菌・消毒を行っています。
- 講師と受講生の間にアクリルパネルを設置しています。



源氏物語を
楽しむ

「空蟬・夕顔の巻を読む」

源氏物語が書かれた平安時代は身分制社会でした。にもかかわらず現代人もを魅了してやまないのは、なぜでしょうか。それは細やかな自然描写に魅せられ、登場人物の一举一動に共感できるからです。源氏物語では人物ごとに性格が緻密に書き分けられ、感情の機微も繊細に表現されています。物語を読むたびに、千年たった今も男女の仲は変わらない、と痛感します。これが源氏物語の魅力なのです。この講座では京都人の視点で、読み解いていきます。2022年度春学期は空蟬の巻から読みます。はじめて受講される方も歓迎いたします。



いわつぼ たけし
岩坪 健

文学博士。1957年京都市生まれ。1981年京都大学文学部国語学国文学科卒。1989年大阪大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。1991年「源氏物語古注釈の研究-中世源氏学の流れ-」で文学博士。同志社大学宮廷文化研究センター長。受賞歴：1989年「源氏物語の二段階伝授について-河内方と四辻善成-一条兼良をめぐって」で第16回日本古典文学会賞受賞。2014年「源氏物語の享受 注釈・梗概・絵画・華道」で第15回紫式部学術賞を受賞。著書：『光源氏とティータイム』(新典社/2008)『ウラ日本文学-古典文学の舞台裏-』(新典社/2011)『錦絵で楽しむ源氏絵物語』(和泉書院/2012)『源氏物語といけばな』(平凡社/2019)『「三玉挑事抄」注釈』(和泉書院/2019)など多数。

講義日
4/21(木)、5/19(木)、7/21(木)、8/25(木)、9/15(木)

「空蟬・夕顔の巻」読みどころ



空蟬・夕顔の巻では対照的な二人の女性-空蟬と夕顔-が登場します。兩人とも出家や死別してもなお、光源氏を引きつけてやみません。彼女たちの魅力は何なのでしょう。一緒に考えてみましょう。
第2帖(帚木の巻)・第3帖(空蟬の巻)・第4帖(夕顔の巻)は、帚木三帖と総称されています。まず第2帖の前半は雨夜の品定めで、そこで上流階級の女性しか知らなかった源氏は、初めて中流階級の女性のすばらしさについて教わります。そして巻の後半で中流階級の空蟬と出会い、第3帖では二度も会いに行きますが拒まれてしまいます。源氏物語の中で、源氏に靡かなかったのは空蟬と朝顔の宮だけです。それに対して第4帖で登場する夕顔は、源氏を受け入れますが、互いに素性を明かさないうまま、彼女は物の怪に取りつかれ急死します。空蟬とも会えず、初めて挫折感を味わった源氏のほろ苦い、しかし生涯忘れられない青春の一コマを、当時の慣習なども紹介しながら読み進めます。夕顔が忘れられない源氏は、その遺児である玉鬘に我を忘れてしまいます。また第5帖(若紫の巻)では若紫に、第6帖(末摘花の巻)では末摘花に会うように、帚木三帖はその後の巻々の基盤になっているのです。(岩坪健記)

開催概要	
定員	時間
36名	13:30～15:00
受講料	
15,000円 (一括のみ) ※教材費は含まれません。	
お支払い	
初回の受付でお支払いください。	
教材	
<空蟬の巻> 「大島本源氏物語帚木・空蟬」 堀田 兼夫(編) 和泉書院 1,650円(税込み) ※各自に用意の上ご持参ください。 購入方法: 和泉書院HPからご注文いただけます。	
<夕顔の巻> 「校注 源氏物語分巻叢書 夕顔」 中野 幸一 編 和泉書院 680円(税込み) ※購入方法: 開講後会場でご案内いたします。	

より理解を深めるための 岩坪先生推奨書籍
「錦絵で楽しむ源氏絵物語」 岩坪健 著 (和泉書院/2012) 「見る・知る・読む 源氏物語」 中野幸一 著 (短評出版/2013) 「源氏物語絵巻」 (ビジュアル選書) (新人物往來社(編)/2011) 「すぐわかる源氏物語の絵巻」 山口一博 著 (東京美術/2009)

受講にあたってのお願い

- 受講受付時の混雑を避けるため、ソーシャルディスタンスの維持にご協力ください。
- 受付時の検温にご協力ください。
- 発熱や風邪症状等の不調がある場合は会場での受講をご遠慮ください。
(受講中に体調を崩された場合は、速やかにスタッフにお申し出ください。)
- 構内では常にマスクをご着用ください。咳、くしゃみなどの際は咳エチケットにご協力ください。
- 構内での食事はご遠慮ください。
- 厚生労働省が配布している新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)のご活用をお願いします。

新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とする保健所等の公的機関からの要請により、受講生の個人情報を提供する場合があります。



イスラームの視座に学ぶ

「西欧とイスラーム—『水と油』の共生に向けて」

9.11の同時多発テロ以来、西欧とイスラームの関係は破局に向かった。コロナ禍が終わった時、両者の関係は修復不可能なレベルにあることが明らかになる。だが、私たちはイスラーム教徒と共に生きていかなければならない。いすれ訪日外国人が増えれば、イスラーム教徒も増える。日本が西欧世界の轍を踏まないうで、16億の人びとと共生していくには何が必要なかを過去二十年を振り返りながらお話ししていく。

講師



ないとう まさのり 同志社大学グローバル・スタディーズ研究科 教授
内藤 正典

1956年東京生まれ。東京大学教養学部教養学科(科学史・科学哲学分科)卒業。東京大学大学院理学系研究科地理学専攻中退。東京大学助手、一橋大学助教授、教授を経て、2010年から同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科教授。博士(社会学)。専門は、中東・イスラーム地域研究、移民・難民問題、多文化共生論。著書に『教えて!タリバンのこと』(ミシマ社/2022年3月予定)、『なぜ、イスラームと衝突し続けるのか!』(明石書店/2021)、『イスラームからヨーロッパをみる』(岩波新書/2020)、『新しい戦争とメディア、9・11以後のジャーナリズムを検証する』(編著・明石書店/2003)。メールマガジンによる公開ゼミ「内藤正典のTwitterでは書けなかったこと」をfoomil.comにて連載中。

1回 5/19 木 「タリバン復権の誤解」

昨年夏のタリバン復権で、日本のメディアは大きな誤解をしていた。タリバンの戦いとは何だったのか、タリバンは何をしようとしているのか。もう一度、彼らの主張と欧米の主張を照らし合わせ、両者がいかに「水と油」の関係かを考える。

2回 6/2 木 「9.11は、なぜ起きたのか?」

中東・イスラーム世界では、70年代までは「民族」だった抵抗の主体が、80年代になると「宗教」へと代わった。その矛先は、なぜ、中東諸国から欧米諸国へと変わる過程をたどることになったのか。そして、9.11以降の反イスラーム感情は、なぜ米国より欧州で激しくなったのかを考える。

3回 6/23 木 「和解の芽を摘んだ欧州」

9.11の直後、ほんの一瞬、西欧とイスラームとの和解が成り立つ機会があった。それがトルコのEU加盟だった。しかし、加盟交渉を決めたEUは、9.11によって態度を翻し、イスラーム世界で唯一、西欧世界に入ろうとしたトルコを排除してしまう。その後のトルコの変容と合わせて考える。

4回 7/7 木 「中東動乱・EU崩壊」

2010年代に入ると、アラブ諸国では相次いで民主化運動が起きたが、大半が失敗し、凄惨な内戦に陥っていく。西欧諸国は、なぜこの内戦を見捨てたのか?2015年の難民危機は、ヨーロッパ各国を一層反イスラームに掻き立てた。それに対して、暴走したイスラーム教徒のテロが頻発し、両者は修復不可能な状態に。

5回 7/28 木 「『水と油』でも共生するには?」

近代以降の西欧の諸価値とイスラームの諸価値は、「水と油」である。考え方の土台は、どう違うのか、その上に造られる国家のかたちはどう違うのか。それでも、共に生きるには何が 필요한のか?もう一度、アフガニスタンの例をもとに考えていく。

開催概要	
定員	時間
36名	18:30~20:00
受講料	
15,000円 (一括のみ)	
お支払い	
初回の受付でお支払いください。	
資料	
当日講師より配付いたします。	

より理解を深めるための
内藤先生推奨
書籍とメールマガジン

「イスラームからヨーロッパをみる—社会の深層で何が起きているのか!」
内藤正典 著(岩波新書/2020)

「教えて!タリバンのこと」
内藤正典 著(ミシマ社/2022年3月予定)

メール・ウェブで読める
ウェブマガジン
「内藤正典のTwitterでは書けなかったこと」
foomil.com

中国を読み解く

「歴史から読み解く習近平時代の中国」

中国には2つの顔がある。固くて四角い中国と柔らかくて丸い中国。習近平政権下の中国は世界の強国を目指しもっぱら強面ぶりを見せているが、民間社会の旺盛で革新的な経済活動が今日の中国の繁栄をもたらしたこともたしかである。本講座では5つのキーワードを切り口に、世界の大国として存在感を発揮している中国を理解するための視座を提供してみたい。

講師



むらた ゆうしょう 同志社大学グローバル・スタディーズ研究科 教授
村田 雄二郎

1957年東京生まれ。東京大学教養学部卒業。北京大学大学院人文科学研究科修士課程修了。東京大学大学院総合文化研究科教授を経て2018年より現職。東京大学名誉教授。日本学会会議連携会員、中国研究所理事、東洋文庫客員研究員。1982-84年北京大学哲学系高級進修生。1990-91年北京日本学研究中心講師。1999-00年ハーバード・イェンチン研究所客員研究員。専門は、中国近現代史、日中関係史。主な著書に「語言・民族・国家・歴史—村田雄二郎中国研究文集」(重慶出版社/2020)「日中の120年文芸・評論作品選」(全5巻、共編 岩波書店/2016)「講座東アジアの知識人」(全5巻、共編 有志舎/2013-14)「清末中国と日本—宮廷・変法・革命」(共著 研文出版/2011)「リベラリズムの中国」(主編 有志舎/2011)など。

1回 4/1 金 「共産党—社会にはりめぐらされた電線」

新型コロナ対策における中国の「成功」は監視カメラや携帯アプリを活用した先端技術の導入にあるばかりではない。大事なのは、人々の動員と管理に中国共産党の組織網が比類なき動員力と統制力を発揮したことである。創立100年を迎える「党」の支配とは何なのか、2020年のパンデミックを素材に政治学の角度から考察する。

2回 5/6 金 「国恥—歴史トラウマの政治化」

習近平の掲げる「中国の夢」には近代中国が被った「国恥」(国家の屈辱)を晴らそうとする民族的国家的アイデンティティの問題がある。対外強硬姿勢をもたらす「愛国主義」という名のナショナリズムも、近代以来の負の歴史の「総決算」という側面をもつ。ポスト冷戦期に政治化する中国の「国恥」の記憶を歴史の中で検証する。

3回 6/3 金 「民族・宗教—チベットを事例に」

多民族統一国家を標榜する中国は漢族と55の少数民族から構成される。民族政策としては「民族区域自治」をとるが、チベット・新疆・モンゴルでは「自治」の内実をめぐる民族間の紛争や反目が存在する。チベットのダライ・ラマ政権と中国との関係を事例として、社会主義国家における民族と宗教をめぐる政治統合の問題を考える。

4回 7/1 金 「日中関係—歴史認識の相克」

「島」をめぐる領土問題や安全保障の面で深刻な軋轢を内包する日中関係の根底には、戦争をめぐる歴史認識問題がある。それは感情や「心」のきしみを引き起こすだけに、外交問題としての処理が困難な側面がある。独仏和解の事例を脇に置きつつ、戦後最悪とされる日中関係の来し方行く末を展望してみたい。

5回 8/5 金 「民主化—一六四天安門事件と政治改革の行方」

1989年の天安門事件は中国における民主化の困難を改めて世界に示した。躍進する経済と裏腹に、政治改革はここ30年来まったく前進していない。中国はなぜ民主化理論(経済成度で生まれた中産層が民主化の担い手となる)を裏切り続けるのか、中国の政治文化の視点も交えつつ国家・社会関係から習近平の強権政治の歴史的背景を紐解く。

開催概要	
定員	時間
36名	13:30~15:00
受講料	
15,000円 (一括のみ)	
お支払い	
初回の受付でお支払いください。	
資料	
当日講師より配付いたします。	

※本講座は2021年春学期にご案内した講座です。この度の募集に関しては、昨年にお申込みいただいた方を優先しお受けいたします。そのため、受講確定までお待ちいただく場合などがございます。ご了承ください。なお、2021年春にお申し込みの方には別途ご案内いたします。

より理解を深めるための
村田先生推奨書籍

「雍正帝—中国の独裁君主」
宮崎 市定 著(中公文庫/1996)

「ダライ・ラマ自伝」
ダライ・ラマ 著 山際素男 訳(文春文庫/2001)

「東大塾 社会人のための現代中国講義」
高原明生・丸川知雄・伊藤聖聖 編(東京大学出版会/2014)

受講に関するご案内

お申込み方法

- WEBサイトもしくはFAXにてお申込みください。(メール、電話でのお申込みはお受けしていません。)

【WEBサイト】

同志社大学東京オフィスHP > 講座のお申込み
お申込みフォームをご利用ください。
<https://tokyo-office.doshisha.ac.jp/entry/entry.html>
【FAX】
同封の「受講申込書」をご利用ください。
同志社大学東京オフィス FAX: (03)6228-7262

- 本講座は、同志社大学東京サテライト・キャンパスにて開催いたします。

新型コロナウイルス感染拡大をはじめとする不測の事態の際はオンライン形式に変更する場合がございます。予めご了承ください。
※オンライン形式による受講に関する要領は、別途記載(「オンライン受講について」)にてご確認ください。

お申込み受付・受講確定

- お申込みは先着順で受付し、定員になり次第募集を終了します。
(注)欠員待ちは行っておりません。
(注)所定の人数に達しないなどの理由で、開講しない場合があります。
- 受講が決まりましたら、「受講票」を郵送します。受講票の到着をもって受講確定といたします。
(注)受講票は1講座1枚です。受講当日、必ずお持ちください。
- 定員を超えるお申込みを頂戴し受講いただけない方には、お申込み時の連絡先にお知らせいたします。

受講料のお支払い

- 受講料は初回の受付でお支払いください。
- 各講座とも受講料は全回分(一括)です。金額は各講座のご紹介欄でご確認ください。
- お支払いは現金のみです。
- いったん納入された受講料は返還いたしませんのでご注意ください。
- 初回をオンラインで受講される場合は、事前振込みが必要です。該当の方には、別途、ご案内を差し上げます。

学
ぶ
抗
加
齢
医
学
に

「アンチエイジングで免疫力をアップ」

身体はいろいろな臓器・組織からできています。それぞれがバランス良く「機能」することが大切です。老化によって「機能」が低下します。アンチエイジング「抗加齢」医学は、老化に伴う身体機能の衰への予防と回復によって、健康長寿を目指す学問です。講座では、アンチエイジングリサーチセンターの研究成果に基づき、健康に年齢を重ねていくためのヒント「老化時計の調節方法」を紹介します。今回は、特に「免疫機能アップ」に焦点をあてました。

講
師



よねい よしかず
米井 嘉一
同志社大学
生命医科学部／
アンチエイジ
ングリサーチセンター教授

1958年東京生まれ。内科医師・医学博士。1982年慶應義塾大学医学部卒、1986年慶應義塾大学大学院医学研究科内科学専攻博士課程修了。日本鋼管病院内科、人間ドック脳ドック室部長などを歴任。2000年日本鋼管病院に「老化度判定ドック(アンチエイジングドック)」を開設。2005年同志社大学アンチエイジングリサーチセンター教授として、抗加齢医学を日本に紹介。日本抗加齢医学会理事として抗加齢医学の発展、普及、海外との交流に努める。2008年より現職。専門は老化危険因子の一つである糖化ストレスおよび抗糖化物質に関する研究。著書「抗加齢医学入門第3版」(慶應義塾大学出版会/2019)「陰陽五行による癒しの音楽」(廣済堂出版/2001)など多数。毎日新聞社のWEBサイト医療プレミアに「百寿者に学ぶ「バランス健康術」」連載中。

1回 5/27 金 「免疫力と抗老化の深い関係」

私たちは新型コロナウイルスやピロリ菌などの病原生物による攻撃に常にさらされています。感染すると身体は大きなダメージを受け、感染した臓器や組織の老化が進みます。免疫力は過労、睡眠不足、大量飲酒、ストレス過剰、過度な日焼けによって低下します。免疫防御システムをしっかり保つことが大切です。

2回 6/24 金 「ストレス対策を忘れると老化する？」

心身ストレス負荷が加わると副腎からストレスホルモンが分泌されます。これはストレスに対するその場しのぎのホルモン。ストレスが長く続く、高血圧、高血糖、脂肪の蓄積、筋肉の蛋白質の分解、生殖機能の低下といった変化が起こります。免疫機能の低下も起こるので、感染症にもかかりやすくなります。

3回 7/22 金 「腸管免疫を知って食事を変えよう」

病原微生物の侵入経路として、もっとも多いのは消化管です。そのために腸管免疫が発達しています。消化管には重さで1 kg以上の腸内細菌が住んでいます。善玉菌は体を守る強い味方。腸管免疫の中で重要な役割を果たしています。善玉菌を増やし、悪玉菌を減らすことが、腸管免疫の機能アップにつながります。

4回 8/26 金 「筋肉と脂肪で免疫力アップ！」

糖尿病や肥満といった糖化ストレスの強い病気が増えています。食後高血糖や脂質過剰摂取、過剰の飲酒によって生じたアルデヒドが原因です。そのため免疫機能が低下し、ウイルス感染は重症化しやすくなります。適度な運動によって、筋肉と褐色脂肪を保ち基礎代謝を高めましょう。熱を産生する大切な褐色脂肪を守りましょう。

5回 9/30 金 「抗老化の鍵は睡眠。よい睡眠とは？」

睡眠中に若さと健康を保つ大切なホルモンが分泌されます。良質な睡眠はストレスホルモンを減らします。腸脳連環といって腸管と脳の機能は互いに密な関係があります。良質な睡眠には腸管内の善玉菌を増やし腸管免疫を高める動きもあります。アンチエイジングで健康長寿を目指すために「睡眠」は極めて重要です。

開 催 概 要

定員	時間
36名	13:30～15:00
受講料	
15,000円 (一席のみ)	
お支払い	
初回の受付でお支払いください。	
資料	
当日講師より配付いたします。	

より理解を深めるための 米井先生 推奨書籍

『最新医学が教える
最強のアンチエイジング』
米井嘉一 著(日本実業出版社
/2019)
『なまけ者でも無理なく続く
77の健康習慣』
米井嘉一 著(SBクリエイティ
ブ/2012Kindle版)
『抗加齢医学入門第3版』
米井嘉一 著(慶應義塾大学出版
会/2019)

キャンセル

- お申込み後に受講を取りやめたい場合は、同志社大学東京オフィスに電話にてお知らせください。

教材

- 講師指定の教材(書籍など)を各自でご用意いただく場合があります。講座の開催概要をご確認ください。

修了証

- 受講の講座を全出席された方に修了証をお渡しいたします。

欠席

- ご欠席の連絡は不要です。

その他のお願い

- 受講日当日は、受付にて「受講票」をご提示いただきます。
- 受付は講座開始の30分前から開始いたします。
- 講義中は携帯電話の電源を切るなど、他の受講者に迷惑とならないようご注意ください。
- 講義の録画、録音、写真撮影は禁止です。(講師が許可した場合を除く。)
- オンライン受講においても同様です。
- お申込み時にお届けいただいた住所やメールアドレスなどに変更がある場合は、速やかに同志社大学東京オフィスまでご連絡ください。
- 他の受講生、講師の連絡先はお教えできません。
- 新型コロナウイルス感染拡大の状況や天変地異(台風、地震等の天災)、講師の事情など不測の事態の際には、休講などの措置を取らせていただく場合がございます。

学
ぶ
日
本
近
現
代
史
に

「昭和の時代を動かした首相、その光と影」

昭和という時代には32人の首相が誕生した。この中にはとても首相の任を果たしたとは思えない人物もいる反面、相応に役割を果たした人物もいる。特に軍事から経済に舵を切り替えた戦後日本社会で指導者だった5人に照準を絞り、その功罪を改めて検証したい。人物への好悪を別にして、歴史的視点で問い直してみると意外な発見もあるやに思う。さらに戦前期、占領期には見られないタイプの首相もいるが、それは期待される首相像が変化したからであった。

講
師



ほさか まさやす
阪 正 康
ノンフィクション作家
・評論家
日本近現代史研究者

1939年札幌市生まれ。1963年同志社大学文学部社会科学科卒。1972年『死なう団事件』で作家デビュー。2004年個人誌「昭和史講座」の刊行をはじめ一連の昭和史研究により菊池寛賞受賞。2017年「ナショナリズムの昭和」で和辻哲郎文化賞を受賞。近現代史の実証的研究を続け、これまで約4000人の人々に聞き書き取材を行っている。立教大学社会学部兼任講師、国際日本文化研究センター共同研究員などを歴任。現在、朝日新聞書評委員などを務める。近著「関口宏・阪正康の もう一度! 近現代史 戦争の時代へ」(講談社/2021)「石橋湛山の65日」(東洋経済新報社/2021)文藝春秋で「日本の地下水源」連載中。TV・ラジオ出演/BS-TBS 毎週土曜「関口宏のもう一度! 近現代史」 NHKラジオ第2 毎週月曜「声でつづる昭和人物史」

1回 4/22 金 「戦後社会に戦前を持ち込む岸信介」

岸信介首相は戦後日本にあつては極めて特異な指導者であった。太平洋戦争開戦時の東條内閣の閣僚であったが、その強権的な体質を変えていない。首相になるや、そういう姿勢を露骨に現した。いわゆる60年安保闘争は、そういう体質への国民の側からの総反撃であった。岸首相はそのことに気が付かなかつたのが悲劇であった。

2回 5/20 金 「高度成長経済を成功させた池田勇人」

岸信介首相の退陣の後、日本の政治状況は不信と怒りが充満していた。それをなだめたのが、池田勇人首相であった。寛容と忍耐という言葉で、自らの政治姿勢を語り、あなたの給料を2倍にしてみせますという語で、国民の不満を抑えた。池田首相は必ずしもハト派というわけではなかったが、ブレーンの忠告に従ったのである。

3回 6/17 金 「沖縄返還を実現させた佐藤栄作」

佐藤栄作首相は二つの点で特筆される首相である。ひとつは長年の懸案だった沖縄返還を実現させたことだ。歴代の首相がなかなか実現させ得なかったことを、とにもかくにも果たした功績は大きい。そしてもうひとつは、建前と本音をうまく使い分けたことである。核抜き返還ということがそれは違っていた。二面性が特徴である。

4回 7/15 金 「角栄政治と官僚政治の対決福田赳夫」

福田赳夫首相は在任中はどちらかといえば佐藤政治を継承する姿勢を見せていた。田中角栄の放漫、バラマキ型の財政政策に極めて批判的であった。低成長、質素な生活、それにはバブル経済からの脱却こそが望まれるというのであった。そういう意見は田中財政に慣れた国民にはなかなか受け入れられなかった。その構図を見る。

5回 8/12 金 「死して保守の統一を図った大平正芳」

ロッキード事件は昭和50年代の伏魔殿ともいふべき汚職事件であった。現在でもその真相は詳らかではないが、実際にアメリカ側の田中角栄潰しとの声もあるように思う。その理由はどうあれ大平は、田中派の支援を受けて首相になったのは事実であった。そして潰れる時も40日闘争である。その選挙期間中に急死した首相であった。

開 催 概 要

定員	時間
36名	13:30～15:00
受講料	
15,000円 (一席のみ)	
お支払い	
初回の受付でお支払いください。	
資料	
当日講師より配付いたします。	

より理解を深めるための 阪 正 康 先生 推奨書籍

『自民党戦国史』
伊藤昌哉 著(ちくま文庫
/2009)
『六〇 年安保闘争の真実』
阪正康 著(中央公論新社
/2007)
『新・自民党戦国史』
伊藤昌哉 著(朝日ソノラマ
/1983)
『田中角栄
頂点をきわめた男の物語』
早坂茂三 著(PHP文庫
/2016)

オンライン受講について

同志社講座は、同志社大学東京サテライト・キャンパスにおいて対面形式で開講いたします。ただし、新型コロナウイルス感染拡大をはじめとする不測の事態の際はオンライン形式に変更場合がございます。また、受講生の皆様のご都合やご事情により、オンライン形式での受講をご希望される場合は予めご連絡ください。可能な範囲でご対応いたします。(※ご対応できない場合もございます。予めご了承ください。)

オンライン形式による受講に関するご注意

- 受講にはカメラ、スピーカー、マイクが付属するパソコンやタブレット、スマートフォンなどが必要です。＊機器はインターネットに接続されている必要があります。＊同志社大学東京オフィスでは、機器の貸出しや技術支援はできません。ご了承ください。
- オンライン接続のURLは第三者に共有しないでください。
- 講座の録画・録音は禁止です。

オンライン形式による受講を希望される場合のご連絡

- 初回をオンライン形式で受講された場合は、お申込み時にお申し出ください。
- 2回目以降について
開講日のオンライン受講を希望される場合は当該講座の3日前(休業日を除く)までにご連絡ください。前日に、メールにてオンライン接続のURLをお送りいたします。また、講座日に会場に来ることやオンライン受講ができない場合、翌日以降(休業日を除く)にビデオ録画データでの受講も可能です。
- 配付資料がある場合は、メールにてお届けいたします。

同志社講座 2022年度春学期 お申込み

WEB

同志社大学東京オフィス

検索

お申込みフォームをご利用ください。

<https://tokyo-office.doshisha.ac.jp/entry/entry.html>

FAX

03-6228-7262

同封の「受講申込書」をご利用ください。

個人情報の取扱いについて

お申込みに際してご提供いただく個人情報は、個人情報の保護に関する法律及び本学が定める「個人情報保護の基本方針」、「同志社個人情報保護規程」等に基づき、適正に取り扱います。お預かりした個人情報は、同志社講座ならびに同志社大学からのご案内に利用させていただき、ご本人の同意なく、法令上認められている次の場合を除いて第三者に提供いたしません。

- ご本人の同意を得た場合
- 利用目的の達成に必要な範囲内で、同志社大学の業務委託先(再委託先を含みます)に個人情報の取扱いの全部又は一部を委託することに伴って当該個人情報を提供する場合
- 上記の他、法令に基づき開示、提供することが求められた場合

同志社大学 東京オフィス

平日 9:00~17:00

〒104-0031

東京都中央区京橋2丁目7番19号
京橋イーストビル3階

(中央通り沿い 明治屋ビル向かい 1階にみずほ銀行があります)

TEL : 03-6228-7260

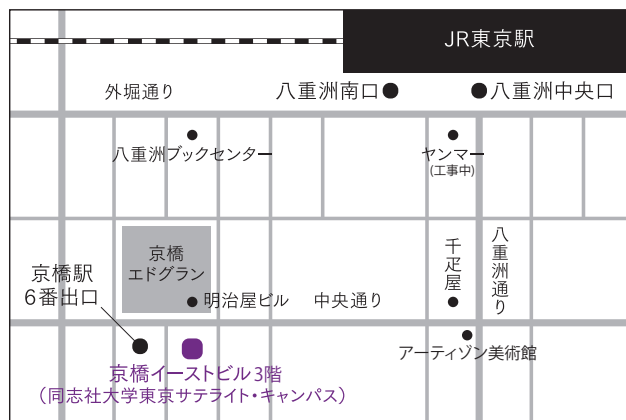
FAX : 03-6228-7262

E-mail: ji-toky1@mail.doshisha.ac.jp

<https://tokyo-office.doshisha.ac.jp/>

同志社大学東京オフィス

検索



- JR 東京駅 八重洲南口 徒歩6分
- 東京メトロ有楽町線 銀座一丁目駅7番出口 徒歩5分
- 東京メトロ銀座線 京橋駅 6番出口 徒歩1分
- 都営浅草線 宝町駅 A7番出口 徒歩2分